

他自治体の山・鉾・屋台行事関連施設のアンケート調査結果

整理番号	都道府県/市区町村名	施設名	開館年月日	コロナ前/2018年、直近3年間/2021~2023年における年間の入館者数	建築年、構造/階数、建築面積、延床面積	展示物に關係している山・鉾・屋台行事の名称	展示物や収蔵品の保存・管理について問題点。その問題点や課題をどのように解決しようとしているか、或いはどのように解決したか。	施設の管理・運営主体である組織・団体名	施設の管理・運営方法	施設の運営・管理における問題点や課題。その問題点や課題をどのように解決しようとしていますか、或いはどのように解決したか。	施設の大規模修繕又はリニューアルの実施の有無	今後、施設の大規模修繕を予定しているか。修繕の内容、想定されている概算経費（予算額）	祭り・行事の実施期間以外に域外の来訪者を増大させるために工夫されている取組
1	青森県 八戸市	八戸三社大祭山車制作展示施設	2024年7月31日 （供用開始）	供用開始前のため0人	建築年 2024年 構造/階数 鉄骨造/平屋 建築面積 制作展示棟：152㎡ 倉庫兼休憩室：54㎡ 延床面積 制作展示棟：149㎡ 倉庫兼休憩室：54㎡ ※制作展示棟全6棟、倉庫兼休憩室全6棟 ※展示は制作展示棟で行う	八戸三社大祭		八戸市	直営（業務委託を含む）	当施設は一年を通して山車組が使用しており、山車の展示やお囃子の実演を行うには、山車組の協力が必要不可欠であり、協力体制の維持が必要である。	実施していない	予定なし	今後、山車制作過程の見学やお囃子の体験、お祭り終了後の山車展示などを検討していく予定である。
2	秋田県 鹿角市	祭り展示館 （道の駅内の施設になります）	1989年6月1日	2018年 10,952人 2021年 8,915人 2022年 7,311人 2023年 9,961人	建築年 1988年 構造/階数 鉄骨鉄筋コンクリート造/地上2階建 建築面積 2,679㎡ 延床面積 2,544㎡	花輪祭の屋台行事	なし	株式会社かづの観光物産公社 （「道の駅かづの」内の施設となっております）	指定管理者	大規模改修を実施したものの、改修の着手できなかった箇所の修繕対応がたびたび発生しているところです。	実施した	ありません	道の駅となっているため、土産品や産直品の販売、郷土食の手作り体験などを実施しているほか、指定管理を行っている(株)かづの観光物産公社がDMOにもなっているため、道の駅誘客及び本市観光誘客を図ることで、館内施設である「祭り展示館」への来場につなげるよう取り組みを進めています。
3	秋田県 秋田市	「秋田市土崎みなと歴史伝承館」	2018年3月24日	2018年度 40,148人 2021年度 13,553人 2022年度 14,561人 2023年度 16,658人	建築年 2017年（平成29年） 構造/階数 鉄筋コンクリート造/地上2階建 一部鉄骨造 建築面積 1,113.35㎡ 延床面積 1,393.98㎡	「土崎神明社祭の曳山行事」	祭りに関する展示物だけでなく、地域の歴史や文化、戦争に関する展示もあるため、その棲み分けや収蔵スペースに課題があるが、どのように解決していくか検討中である。	「土崎みなと街づくり協議会」	指定管理者	施設の運営状況等に関する問題点・課題 ○予算の頭打ちや、スタッフの不足 ○他団体との連携 ○祭り行事の展示のほかにも、地域の歴史や戦争（地元にあった空襲等）に関する資料も展示しているため、各項目に関するバランスに課題がある。 解決方法 ●他団体との連携については、協議会等を結成して話し合いの場を設け、課題の共有化と解決策を探っている。 ●ほかの課題については、検討中。	実施した	令和7年度もしくは8年度に展示している曳山（置き山）の更新を予定している。（予算額は未定）	祭りの時期(7月20日、21日)以外に、独自のイベントや、他の展示物に関わる催し、例えば戦争に関する展示会や講話会、地域の歴史、文化に関わる展示会などを開催している。また、秋田港に程近いためクルーズ船寄港時に乗船客の誘客にも力を入れている。
4	山形県 新庄市	新庄ふるさと歴史センター	1983年11月1日	2018年度 10,892人 2021年度 5,578人 2022年度 7,471人 2023年度 7,672人	建築年 1983年 構造/階層 鉄筋コンクリート造/地上2階地下1階 建築面積 1,500㎡ 延床面積 2,500㎡	新庄まつりの山車行事	開館から40年以上経過し、設備の老朽化が顕著となっている。市の財政計画に基づき、計画的な修繕を行う。 ※令和6年7月に発生した大雨の影響により施設地下の電気・空調等設備が浸水し、休館を余儀なくされている。施設の復旧についても今後中長期的に取り組む事となった。	新庄市	直営（職員で管理・運営を実施）		実施した	災害復旧に係る各種設備（電気・空調・消防ポンプ、エレベーター等）修繕金額未定	まつりの映像上映、キャプションの多言語化

整理番号	都道府県/市区町村名	施設名	開館年月日	コロナ前/2018年、直近3年間/2021~2023年における年間の入館者数	建築年、構造/階数、建築面積、延床面積	展示物に係っている山・鉾・屋台行事の名称	展示物や収蔵品の保存・管理について問題点。その問題点や課題をどのように解決しようとしているか、或いはどのように解決したか。	施設の管理・運営主体である組織・団体名	施設の管理・運営方法	施設の運営・管理における問題点や課題。その問題点や課題をどのように解決しようとしていますか、或いはどのように解決したか。	施設の大規模修繕又はリニューアルの実施の有無	今後、施設の大規模修繕を予定しているか。修繕の内容、想定されている概算経費（予算額）	祭り・行事の実施期間以外に域外の来訪者を増大させるために工夫されている取組
5	栃木県 那須烏山市	山あげ会館	1991年7月25日	2018年度 9,509人 2021年度 3,677人 2022年度 7,022人 2023年度 8,855人	建築年 平成3年 構造/階数 鉄骨造3階建 建築面積 1,273.04㎡ 延床面積 1,699.24㎡	烏山の山あげ行事	当施設は築30年以上が経過しており、2017年度に大規模改修を行っている。その際、改修を行っていない部分の経年劣化等に起因する展示物等の破損等を懸念している。（例：雨漏りによる展示物等の故障、腐食等）その都度修繕で対応しているが、今後計画的な改修が必要と考える。	一般社団法人那須烏山市観光協会	指定管理者	当施設は観光拠点であるが、設置目的は烏山の山あげ行事の保存、歴史・文化の伝承の性質が強く、活用がしづらい。（うまく活用できていない）また、施設の規模や展示施設という性質に加え、老朽化もみられることから維持管理費、修繕費が他の観光施設と比べ負担が大きい状況にある。	実施した	未定	当施設が市街地に位置していることから、団体等が企画するイベントの開催地として活用していただいている。 また、指定管理者が団体等と協力、連携し、当施設をイベント等の立ち寄りスポットに設定していただいている。
6	栃木県 鹿沼市	屋台のまち中央公園 彫刻屋台展示館	1998年10月10日	【彫刻屋台展示館 入館者数】 2018年度 10,403人 2021年度 3,336人 2022年度 4,834人 2023年度 7,068人	建築年 1998年 構造/階数 鉄骨造/地上2階建 建築面積 685.09㎡ 延床面積 734.36㎡	鹿沼秋まつり		一般社団法人鹿沼市観光協会	指定管理者		実施していない	現時点では予定していない。	
6	栃木県 鹿沼市	仲町屋台収蔵庫	1993年4月1日	無人施設 2018年度 不明 2021年度 不明 2022年度 不明 2023年度 8,023人（カウンタ設置）	建築年 1993年 構造/階数 木造2階 建築面積 153.42平米 延床面積 182.17平米	鹿沼今宮神社祭の屋台行事	なし	市	直営（業務委託を含む）	無人の展示施設のため、朝夕の開閉業務のみのため労力的な負担は比較的小さい。	実施していない	なし	
6	栃木県 鹿沼市	木のふるさと伝統工芸館	1992年4月1日	2018年度 14,277人 2021年度 4,059人 2022年度 6,103人 2023年度 8,005人	建築年 1992年 構造/階数 鉄骨造 2階建て 建築面積 235.69平米 延床面積 340.13平米	鹿沼今宮神社祭の屋台行事		鹿沼市	直営（業務委託を含む）	地元自治会に施設の管理運営を委託しているが、自治会戸数の減少や高齢化等による負担が増加傾向にある。	実施していない	なし	講座等の実施
6	栃木県 鹿沼市	鹿沼市文化活動交流館 郷土資料展示室・屋台展示室	2002年10月1日	2018年 6,036人 2021年 4,013人 2022年 5,960人 2023年 6,357人	建築年 2002年 構造 平屋 建築面積 1610.27㎡ 延床面積 1388.40㎡（展示室 505.17㎡）	鹿沼今宮神社祭の屋台行事	鹿沼市の通史にまつわる展示室のほかに、彫刻屋台が2台並ぶ展示室がある。 屋台展示室は温湿度の自動管理設備がないため、屋台のまわりに水桶を置き、部材の乾燥を防止している。 これは各町にある屋台収蔵庫も同じ状況である。	郷土資料展示室管理運営協議会	その他		実施していない		SNS・HPでの告知を実施している。
7	埼玉県 秩父市	秩父まつり会館	1984年4月18日	2018 78,368人 2021 30,834人 2022 42,364人 2023 45,120人	建築年 1984年 構造/階数 鉄筋コンクリート3階建 建築面積 847.21㎡ 延床面積 1296.06㎡	秩父夜祭		株式会社ちふ観光機構	直営（業務委託を含む）	入館者の減少 光熱費の高騰 設備の劣化	実施した		
9	千葉県 香取市	水郷佐原山車会館	1988年	2018年度：28,756名 2021年度：18,178名 2022年度：24,108名 2023年度：25,249名	建築年数 1988年 構造/階数 鉄筋コンクリート造/地上3階建 建築面積 429㎡ 延床面積 831㎡	佐原の大祭	築年数に伴う展示室の老朽化（空調や照明設備などの修繕が多発）、展示物や収蔵品の収納スペースの不足および適切な資料の整理が実施できていない点が課題としてあげられる。	香取市	直営（職員で管理・運営を実施）	エレベーターがなく、高齢者・障がい者等に対応した施設となっていない点が課題としてあげられる。 また、現施設の築年数に伴う経年劣化が顕著であり、施設運営管理の民間移譲を実施できない点も課題である。 新たに施設を建設したのちに、民間の活用を検討したい。	実施していない		近隣に位置する伊能忠敬記念館との共通券の発行や香取市内博物館及び観光施設における共通年間パスポート券の発行、市内観光施設における割引券の設置等があげられる。

整理番号	都道府県/市区町村名	施設名	開館年月日	コロナ前/2018年、直近3年間/2021～2023年における年間の入館者数	建築年、構造/階数、建築面積、延床面積	展示物に係っている山・鉾・屋台行事の名称	展示物や収蔵品の保存・管理について問題点。その問題点や課題をどのように解決しようとしているか、或いはどのように解決したか。	施設の管理・運営主体である組織・団体名	施設の管理・運営方法	施設の運営・管理における問題点や課題。その問題点や課題をどのように解決しようとしていますか、或いはどのように解決したか。	施設の大規模修繕又はリニューアルの実施の有無	今後、施設の大規模修繕を予定しているか。修繕の内容、想定されている概算経費（予算額）	祭り・行事の実施期間以外に域外の来訪者を増大させるために工夫されている取組
10	新潟県村上市	村上市郷土資料館（おしゃぎり会館）	1982年4月1日	2018年度 25,763人 2021年度 10,179人 2022年度 13,461人 2023年度 13,255人	建築年：1982年 構造/階数：鉄筋コンクリート造/地上2階建 建築面積：1階1,002㎡、2階703㎡ 延床面積：1,754㎡	村上大祭（村上祭の屋台行事）	①収蔵スペースが少ない⇒閉校学校の活用、倉庫等の収蔵室への転用 ②展示室内が空調設備による温湿度管理ができない⇒展示スペースに水槽設置したりフロアに直接散水し湿度を確保（暖房使用時） ③水銀灯、蛍光灯の使用にいたる退色	公益財団法人イヨボヤの里開発公社	指定管理者	①屋台がそのまま搬入できない。⇒当初からの設計ミス ②建築から40年以上経過し建物の老朽化が見られる。⇒予算不足による根本的な問題は解決されていない。 ③学芸系の職員不足⇒学芸員の不在、専門員の育成ができていない。実務経験者による間に合わせ的な代行。	実施していない		①所蔵品の貸し出し ②HP、SNS等の活用 ③観光商談会等への参加
11	富山県高岡市	高岡御車山会館	2015年4月25日	2018年 53,537人 2021年 16,931人 2022年 31,461人 2023年 37,132人	建築年 2015年 構造/階数 ガイダンス棟・展示棟：鉄筋コンクリート造、鉄骨造/2階建て一部3階建 土蔵棟：木造、土蔵造/2階建 建築面積 1,542㎡ 延床面積 2,682㎡	高岡御車山祭		高岡市	直営（職員で管理・運営を実施）		実施していない		
12	富山県魚津市	ありそドーム	1998年7月6日		建築年 1997年 構造/階数 SRC/4 延床面積 12153.89	魚津のタテモン行事		公益財団法人 魚津市スポーツ協会	指定管理者				
12	富山県魚津市	魚津テクノスポーツドーム 富山県新川文化ホール	魚津テクノスポーツドーム1998年7月 富山県新川文化ホール1994年11月	「入館者数」は集計していないため不明	(テクノスポーツドーム) 建築年 1998年 構造 鉄筋コンクリート造 地上4階 建築面積 9,436㎡ 延床面積 12,154㎡ (新川文化ホール) 建築年 1994年 構造 鉄筋コンクリート造 地上4階(地下2階) 敷地面積 8,230㎡ 延床面積 12,797㎡	魚津のタテモン行事		テクノスポーツドーム……魚津市スポーツ協会 新川文化ホール……富山県文化振興財団	指定管理者		実施した		
13	富山県南砺市	・城端曳山会館 ・土蔵群「蔵回廊」 (城端曳山会館に隣接する資料展示館)	・城端曳山会館 1982年5月19日 ・土蔵群「蔵回廊」 1993年11月1日	2018年 6,234人 2021年 3,504人 2022年 7,606人 2023年 8,004人 ※城端曳山会館、土蔵群「蔵回廊」ともに同じ入館者数	・城端曳山会館 建築年 1981年 構造/階数 鉄筋コンクリート造/2階建 建築面積 580.23㎡ 延床面積 742.81㎡ ・土蔵群「蔵回廊」 建築年 1,993年 構造/階数 木造/2階建 建築面積 384.94㎡ 延床面積 631.83㎡	城端曳山祭（ユネスコ無形文化遺産登録名称「城端神明宮祭の曳山行事」）	展示ケースの温湿度管理が十分でない。 そのため、人の手により定期的な温湿度管理を行っている。	南砺市	直営（職員で管理・運営を実施）	コロナ禍の規制が緩和されたことにより、入館者数は回復傾向にある。引き続き、安定的な入館者数を確保していくとともに、城端曳山祭の魅力を発信し、市民の南砺の暮らしへの誇り、愛着の情勢を図っていくことが課題である。課題解決のため、子どもたちへのふるさと学習の機会提供や、ふるさとの歴史に触れる機会を増やし、曳山の魅力を伝えていく。また、トイレのバリアフリー化やWi-Fi導入などサービス向上のための環境整備を進めている。	実施していない	内容 トイレ改修工事 概算経費 30,000,000円	県外での城端曳山祭のPR（「神楽坂まち舞台・大江戸めぐり」での庵唄披露等）
15	岐阜県高山市	高山祭屋台会館	1968年9月15日		建築年1968年鉄筋コンクリート造り	秋の高山祭の屋台		宗教法人櫻山八幡宮	直営（職員で管理・運営を実施）		実施した		

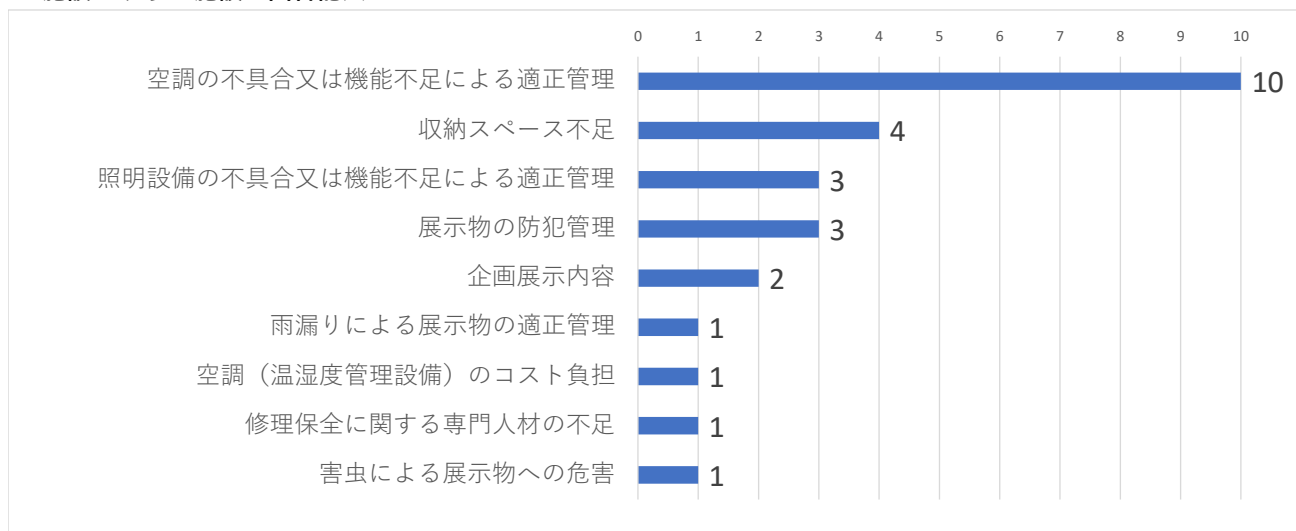
整理番号	都道府県/市区町村名	施設名	開館年月日	コロナ前/2018年、直近3年間/2021～2023年における年間の入館者数	建築年、構造/階数、建築面積、延床面積	展示物に関係している山・鉾・屋台行事の名称	展示物や収蔵品の保存・管理について問題点。その問題点や課題をどのように解決しようとしているか、或いはどのように解決したか。	施設の管理・運営主体である組織・団体名	施設の管理・運営方法	施設の運営・管理における問題点や課題。その問題点や課題をどのように解決しようとしていますか、或いはどのように解決したか。	施設の大規模修繕又はリニューアルの実施の有無	今後、施設の大規模修繕を予定しているか。修繕の内容、想定されている概算経費（予算額）	祭り・行事の実施期間以外に域外の来訪者を増大させるために工夫されている取組
16	岐阜県飛騨市	飛騨古川まつり会館	1992年6月25日	2018年度 21,057人 2021年度 7,641人 2022年度 15,765人 2023年度 17,634人	建築年 1992年 構造/階数 鉄筋コンクリート造/地下2階・地上1階建 建築面積 1,500㎡ 延床面積 1,981㎡	古川祭の起し太鼓・屋台行事	湿度管理（市販の除湿器を使用）	一般社団法人飛騨市観光協会	指定管理者	・施設の老朽化への対応 →優先順位を付けて段階的に対応 ・収益の確保 →誘客営業、期間限定割引、地域行事イベント時PR、売店商品充実、レンタルサイクル等自主事業など	実施した	無し	展示・映像・HPの英語対応、地域ガイド連携、展示屋台入替（春秋）、広報・メディア露出、旅行会社・近隣宿泊施設等への営業、売店商品充実、レンタルサイクルなど。
17	愛知県犬山市	中本町まちづくり拠点施設	2000年10月1日	2018年度 64,032人 2021年度 24,806人 2022年度 42,849人 2023年度 52,939人	建築年 1999～2000年 構造/回数 鉄筋コンクリート造/地上 2 階建 建築面積 536.70㎡ 延床面積 802.33㎡	犬山祭	車山を適切に保管するために温湿度を管理する必要がある、そのための経費がかかる。	犬山市	直営（業務委託を含む）	現在は施設の日常管理（受付・日常清掃等）を地元町内会へ委託しているが、少子高齢化が進む中、将来にわたり安定的な委託先を確保できるかどうか不透明である。	実施していない	予定なし	犬山城、犬山市文化史料館、中本町まちづくり拠点施設の3施設の周遊券を販売している（各施設を単館券で巡るよりも割安な価格で販売）。また年1回の文化財防火デーに合わせて施設の無料開放を実施している。
19	愛知県半田市	半田市立博物館	1984年10月1日	2018年度 95,961人 2021年度 80,402人 2022年度 87,966人 2023年度 88,865人	建築年 1984年 構造/階数 鉄筋コンクリート造/2階建 塔屋1階 建築面積 3,425,27㎡ 延床面積 5,151,48㎡（うち博物館1,881,50㎡）	亀崎潮干祭の山車行事始め 1 0 地区 3 1 輛の山車	老朽化した設備・機器等の改修と収蔵スペースの確保が課題です。	半田市教育委員会	直営（職員で管理・運営を実施）	施設の老朽化が進む一方で、十分な修繕を行うための予算が確保できない点が課題です。 大規模な修繕は財源的にも厳しいので、なるべく部分的な修繕を早めに行うようにしています。	実施していない	施設の大規模改修については、現在検討中です。	総合博物館として、年5回、企画展や館蔵品展などを開催しています。 また、通年1輛の山車が展示出来るよう、山車組と調整しています。
20	滋賀県長浜市	長浜市曳山博物館	2000年10月1日	2018年度 29,771人 2021年度 11,712人 2022年度 18,317人 2023年度 20,076人	平成12年 鉄筋コンクリート造 地上2階、地下1階（本館棟） 鉄筋コンクリート造 地上2階（工房棟） 敷地面積：3,187.52㎡ 延床面積：2,501.96㎡（本館棟）、115.2㎡（工房棟）	長浜曳山祭	・展示ケース内空調自動調整器が故障のため、温湿度計で職員が計測 ・レプリカは財団作成し普及啓発事業に活用。ユネスコ登録時に長浜市から別途費用を支出し、展示強化。 ・修理ドックでの曳山修繕は曳山文化協会の業務として実施。市内の金具修理者が不在となり県から職人を紹介。 ・学芸員のマンパワー不足により企画展示を実施するも入館増員につながらない。	公益在団法人長浜曳山文化協会	指定管理者	・財団法人は長浜曳山保存会が全身の文化財の保護団体であり、施設運営、組織経営のプロではない。 ・プロパーの雇用条件が改善できず、雇用が不安定となり学芸員の人員不足が常態化している。	実施していない		近隣商業施設に割引券配布
21	滋賀県大津市	大津祭曳山展示館	1991年12月	2018年度：37,596人 2021年度：20,290人 2022年度：29,033人 2023年度：27,297人	建築年：平成3年 構造：鉄筋コンクリート造4階建 敷地面積：519㎡ 延床面積：841、47㎡	大津祭曳山行事、各曳山の装飾品（現物）曳山（レプリカ）	展示館内に防犯カメラ未設置のため、管理面での課題を感じている。	大津祭曳山連盟	指定管理者	課題①収入が限定的でインセンティブが弱い 課題②施設利用者の減少 課題③老朽化に伴う修繕コスト増 上記課題に対応するため、令和6年度から利用料金制を導入し、有料施設として運営している。	実施した	【2024年度】 外壁改修工事：17、204千円 外壁改修工事設計業務：314千円	・各曳山の装飾品展示 ・大津祭関連グッズの販売 ・お囃子体験の実施
22	大阪府岸和田市	岸和田だんじり会館	1993年9月1日	2018年度 32,831人 2021年度 11,453人 2022年度 26,641人 2023年度 36,843人	建築年 1993年 構造/回数 鉄筋コンクリート造/地上4階建 延床面積 2305.92㎡	岸和田だんじり祭	盗難や損害を考慮し、機械警備により監視している。	岸和田市観光振興協会	指定管理者	施設の老朽化による維持管理→随時対応している。	実施した	なし	施設管理者の企画提案事業や自主事業により、誘客促進を図っている。

整理番号	都道府県/市区町村名	施設名	開館年月日	コロナ前/2018年、直近3年間/2021~2023年における年間の入館者数	建築年、構造/階数、建築面積、延床面積	展示物に関係している山・鉾・屋台行事の名称	展示物や収蔵品の保存・管理について問題点。その問題点や課題をどのように解決しようとしているか、或いはどのように解決したか。	施設の管理・運営主体である組織・団体名	施設の管理・運営方法	施設の運営・管理における問題点や課題。その問題点や課題をどのように解決しようとしていますか、或いはどのように解決したか。	施設の大規模修繕又はリニューアルの実施の有無	今後、施設の大規模修繕を予定しているか。修繕の内容、想定されている概算経費（予算額）	祭り・行事の実施期間以外に域外の来訪者を増大させるために工夫されている取組
24	佐賀県唐津市	唐津市曳山展示場	旧施設 1970年10月31日 現施設 2021年10月1日（新施設への建て替えのため、既存施設を改修し移転した） 新施設 2026年開館予定	2018年度 74,801人 2021年度 24,335人 2022年度 35,353人 2023年度 38,390人	旧施設 建築年 1970年 構造/階数 鉄筋コンクリート造/地上2階建 建築面積 933㎡ 延床面積 1,020㎡ 現施設 建築年 1996年 構造/階数 鉄筋コンクリート造/地上2階建 建築面積 1,072㎡ 延床面積 1,352㎡ 新施設 2026年予定 構造/階数 鉄筋コンクリート造/地上2階建 建築面積 1,318㎡ 延床面積 1,471㎡	唐津くんちの曳山行事	湿度管理が問題となっているが、新施設の建設をもって解決を図る	唐津市	直営（業務委託を含む）	特になし	実施していない	内容 現地建替 概算経費 2,100,000,000円	旅行会社との観光券契約
25	熊本県八代市	八代市民俗伝統芸能伝承館（愛称：お祭りでんでん館）	2021年7月31日	2018年度 開館前のためデータなし 2021年度 9,475人 2022年度 9,613人 2023年度 21,707人	建築年 2021年 構造/階数 鉄筋コンクリート造＋木造、一部鉄骨造/地上2階建 建築面積 1,907.39㎡ 延床面積 1,722.74㎡	八代妙見祭の神幸行事 その他、市内の無形民俗文化財全般	収蔵棟に前室がなく、外部と扉1枚で隔てられているため、周辺の緑地から虫が入りやすい。特に、雨天や夏場の除草作業後に虫が多く、収蔵品の保存・管理に苦労している。また、梅雨や夏季など既存の空調設備だけでは十分な除湿ができないため、据え置き型の除湿機を各収納庫に設置し稼働させている。 展示室内に展示ケースが不足し露出展示をせざるを得ない状態で、クルーズ船寄港時など不特定多数の入館があるため、文化財の破損の危険性がある。	八代市	直営（業務委託を含む）	2024年7月からの入館料無料化で展示室に自由に出入りできるようになり、コロナ後のクルーズ船寄港や団体観覧時などの混雑が増え、露出展示している展示物の破損リスクが高まっていることから、展示物の安全対策が課題となっている。	実施していない	予定していない	施設内でのお祭りや民俗芸能などの体験イベントを実施している。（年に2回） 公式ホームページやインスタグラム等で定期的に施設の取組を紹介している。
99	三重県伊賀市	だんじり会館	1989年5月24日	2018年度 22,716人 2021年度 3,972人 2022年度 6,463人 2023年度 5,359人	建築年 1989年 構造/階数 鉄筋コークリート造 地上2階建て 建築面積 1086.51㎡ 延べ床面積 1499.22㎡	上野天神祭のダンジリ行事	・文化財の保全保護の観点から温湿度管理付の特殊な空調を導入し24時間稼働させているため、光熱水費の高騰により維持管理費が増加している。 ・空調設備は耐用年数を過ぎているので計画的に機器の更新を実施しているが、物価高騰により当初想定した金額より増大している。 ・6カ月に一度だんじりの入れ替えを実施しているが、幕を取り付けた（本体に吊るした）状態で長期間展示しているため、幕が劣化する恐れがある。	一般社団法人伊賀上野観光協会	指定管理者	・建物や設備の老朽化により複数の不具合が生じているため、優先順位の高いものから修繕を行っている。 ・入館者数が2023年度現在で最盛期の10分の1まで減少し、現時点では指定管理者の努力により管理を継続させているが、この先指定管理料の見直しが必要になる可能性がある。	実施した	実施年度 2024~2027年度 内容 空調調和設備機器更新 概算経費 22,356,000円	・指定管理者の自主事業として絵馬作り体験などを実施 ・パンフレット、ホームページ及びSNSによる情報発信

(分析1) 展示物や収蔵品の保存・管理について問題点や課題

【回答】

25施設のうち15施設が回答記入



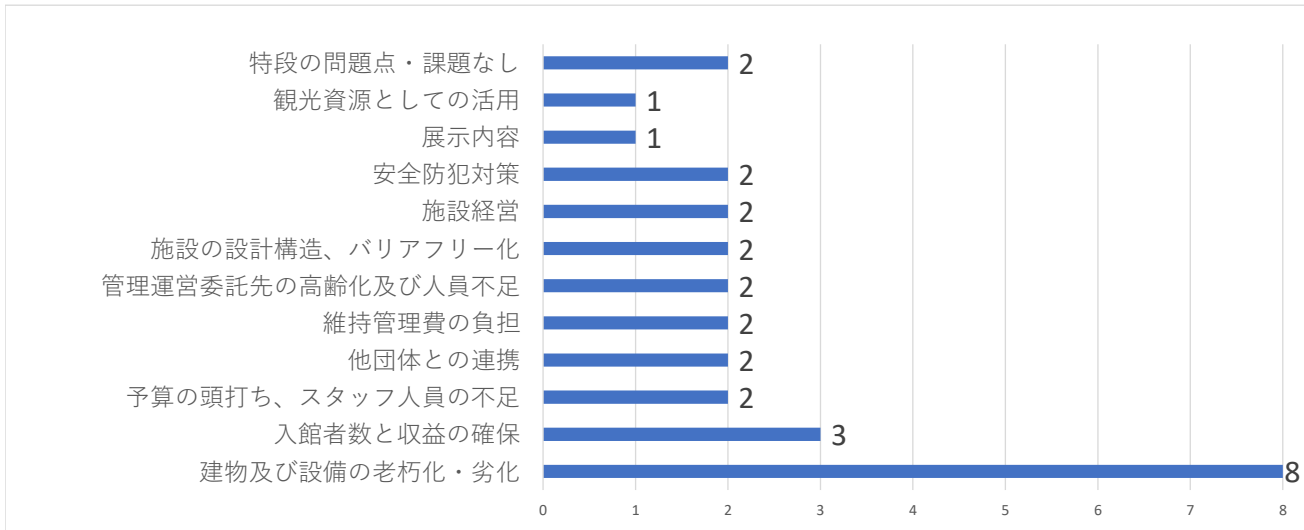
問題点・課題	施設数	具体的内容	施設名
空調（温湿度管理設備）の不具合又は機能不足による展示物の適正管理	10施設	設備の老朽化が顕著。大雨災害で地下の電気・空調等設備が浸水し、現在休館中。	新庄ふるさと歴史センター
		屋台展示室は温湿度の自動管理設備がないため、屋台のまわりに水桶を置き、部材の乾燥を防止。	鹿沼市文化活動交流館 郷土資料展示室・屋台展示室
		展示室の老朽化により空調設備の修繕が多発	水郷佐原山車会館
		展示室内が空調設備による温湿度管理ができないため、展示スペースに水槽設置及びフロアに直接散水し湿度を確保（暖房使用時）。	村上市郷土資料館（おしゃぎり会館）
		展示ケースの温湿度管理が不十分なため、人の手により定期的な温湿度管理を実施	城端曳山会館/土蔵群「蔵回廊」
		湿度管理（市販の除湿器を使用）	飛騨古川まつり会館
		老朽化した設備・機器等の改修	半田市立博物館
		展示ケース内空調自動調整器が故障のため、温湿度計で職員が計測。	長浜市曳山博物館
		湿度管理が問題となっているが、新施設の建設をもって解決を図る	唐津市曳山展示場
		既存の空調設備だけでは十分な除湿ができないため、据え置き型の除湿機を各収納庫に設置し稼働	八代市民俗伝統芸能伝承館（愛称：お祭りでんでん館）
収納スペース不足	4施設	展示物や収蔵品の収納スペースの不足および適切な資料の整理が実施できていない	水郷佐原山車会館
		・祭りに関する展示物だけでなく、地域の歴史や文化、戦争に関する展示もあるため、収蔵スペースに課題がある。	秋田市土崎みなと歴史伝承館
		収蔵スペースが少ないため、閉校学校の活用、倉庫等の収蔵室への転用。	村上市郷土資料館（おしゃぎり会館）
		収蔵スペースの確保	半田市立博物館

問題点・課題	施設数	具体的内容	施設名
照明設備の不具合又は機能不足による展示物の適正管理	3施設	水銀灯、蛍光灯の使用にいたる退色	村上市郷土資料館（おしゃぎり会館）
		展示室の老朽化により照明設備の修繕が多発	水郷佐原山車会館
		老朽化した設備・機器等の改修	半田市立博物館
展示物の防犯管理	3施設	展示館内に防犯カメラ未設置のため、管理防犯上に課題がある。	大津祭曳山展示館
		盗難や損害を考慮し、機械警備により監視	岸和田だんじり会館
		展示ケースが不足し露出展示をせざるを得ない状態で、クルーズ船寄港時など不特定多数の入館があるため、文化財の破損の危険性がある。	八代市民俗伝統芸能伝承館（愛称：お祭りでんでん館）
企画展示内容	2施設	祭りに関する展示物だけでなく、地域の歴史や文化、戦争に関する展示もあるため、その棲み分け	秋田市土崎みなと歴史伝承館
		学芸員の人員不足が常態化。学芸員が企画展を実施するも入館増員につながっていない。	長浜市曳山博物館
雨漏りによる展示物の適正管理	1施設	築30年以上が経過。2017年度大規模改修未実施部分の経年劣化等に起因する雨漏りによる展示物等の故障、腐食等を懸念	山あげ会館
空調（温湿度管理設備）のコスト負担	1施設	温湿度管理の経費がかかる。	中本町まちづくり拠点施設
修理保全に関する専門人材の不足	1施設	修理ドックでの曳山修繕は曳山文化協会の業務として実施しているが、市内の金具修理者が不在となり県から職人を紹介者に頼っている。学芸員の人員不足が常態化。	長浜市曳山博物館
害虫による展示物への危害	1施設	収蔵棟に前室がなく、外部と扉1枚で隔てられているため、周辺の緑地から虫が入りやすい。特に、雨天や夏場の除草作業後に虫が多く、収蔵品の保存・管理に苦労している。	八代市民俗伝統芸能伝承館（愛称：お祭りでんでん館）

(分析2) 施設の運営・管理における問題点や課題

【回答】

25施設のうち18施設が回答記入



問題点・課題	施設数	具体的内容	施設名
建物及び設備の老朽化・劣化	8施設	施設の老朽化が進む一方で、十分な修繕を行うための予算が確保できない点が課題です。大規模な修繕は財源的にも厳しいので、なるべく部分的な修繕を早めに行うようにしています。	半田市立博物館
		大規模改修を実施したものの、改修の着手できなかった箇所の修繕対応がたびたび発生しているところです。	祭り展示館（道の駅内の施設）
		老朽化に伴う修繕コスト増。課題に対応するため、令和6年度から利用料金制を導入し、有料施設として運営している。	大津祭曳山展示館
		施設の老朽化による維持管理→随時対応している。	岸和田だんじり会館
		設備の劣化	秩父まつり会館
		現施設の築年数に伴う経年劣化が顕著であり、施設運営管理の民間移譲を実施できない点も課題である。新たに施設を建設したのちに、民間の活用を検討したい。	水郷佐原山車会館
		建築から40年以上経過し建物の老朽化が見られる。⇒予算不足による根本的な問題は解決されていない。	村上市郷土資料館（おしゃぎり会館）
		施設の老朽化への対応→優先順位を付けて段階的に対応	飛騨古川まつり会館
入館者数と収益の確保	3施設	入館者の減少	秩父まつり会館
		入館者の減少。課題に対応するため、令和6年度から利用料金制を導入し、有料施設として運営している。	大津祭曳山展示館
		収益の確保→誘客営業、期間限定割引、地域行事イベント時PR、売店商品充実、レンタサイクル等自主事業など	飛騨古川まつり会館
予算の頭打ち、スタッフ人員の不足	2施設	予算の頭打ち、スタッフ人員の不足	秋田市土崎みなと歴史伝承館
		学芸系の職員不足⇒学芸員の不在、専門員の育成ができていない。実務経験者による間に合わせ的な代行。	村上市郷土資料館（おしゃぎり会館）

問題点・課題	施設数	具体的内容	施設名
他団体との連携	2施設	当施設は一年を通して山車組が使用しており、山車の展示やお囃子の実演を行うには、山車組の協力が必要不可欠であり、協力体制の維持が必要である。	八戸三社大祭山車制作展示施設
		協議会等を結成して話合いの場を設け、課題の共有化と解決策を探っている。	秋田市土崎みなと歴史伝承館
維持管理費の負担	2施設	施設の規模や展示施設という性質に加え、老朽化もみられることから維持管理費、修繕費が他の観光施設と比べ負担が大きい状況にある。	山あげ会館
		光熱費の高騰	秩父まつり会館
管理運営委託先の高齢化及び人員不足	2施設	地元自治会に施設の管理運営を委託しているが、自治会戸数の減少や高齢化等による負担が増加傾向にある。	木のふるさと伝統工芸館
		現在は施設の日常管理（受付・日常清掃等）を地元町内会へ委託しているが、少子高齢化が進む中、将来にわたり安定的な委託先を確保できるかどうか不透明である。	中本町まちづくり拠点施設
施設の設計構造、バリアフリー化	2施設	エレベーターがなく、高齢者・障がい者等に対応した施設となっていない点が課題としてあげられる。	水郷佐原山車会館
		屋台がそのまま搬入出できない。⇒当初からの設計ミス	村上市郷土資料館（おしゃぎり会館）
施設経営	2施設	収入が限定的でインセンティブが弱い。課題に対応するため、令和6年度から利用料金制を導入し、有料施設として運営している。	大津祭曳山展示館
		・財団法人は長浜曳山保存会が全身の文化財の保護団体であり、施設運営、組織経営のプロではない。プロパーの雇用条件が改善できず、雇用が不安定となり学芸員の人員不足が常態化している。	長浜市曳山博物館
安全防犯対策	2施設	2024年7月からの入館料無料化で展示室に自由に出入りできるようになり、コロナ後のクルーズ船寄港や団体観覧時などの混雑が増え、露出展示している展示物の破損リスクが高まっていることから、展示物の安全対策が課題となっている。	八代市民俗伝統芸能伝承館（愛称：お祭りでんでん館）
展示内容	1施設	祭り行事の展示のほかにも、地域の歴史や戦争（地元にあった空襲等）に関する資料も展示しているため、各項目に関するバランスに課題がある。	秋田市土崎みなと歴史伝承館
観光資源としての活用	1施設	当施設は観光拠点であるが、設置目的は烏山の山あげ行事の保存、歴史・文化の伝承の性質が強く、活用がしづらい。（うまく活用できていない）	山あげ会館
特段の問題点・課題なし	2施設	無人の展示施設のため、朝夕の開閉業務のみのため労力的な負担は比較的少ない。	仲町屋台収蔵庫
		コロナ禍の規制が緩和されたことにより、入館者数は回復傾向にある。引き続き、安定的な入館者数を確保していくとともに、城端曳山祭の魅力を発信し、市民の南砺の暮らしへの誇り、愛着の情勢を図っていくことが課題である。課題解決のため、子どもたちへのふるさと学習の機会提供や、ふるさとの歴史に触れる機会を増やし、曳山の魅力を伝えていく。また、トイレのバリアフリー化やWi-Fi導入などサービス向上のための環境整備を進めている。	城端曳山会館/土蔵群「蔵回廊」